

お客さま



お客さまに感動を伝えるモノ創り企業を目指して

モノ創りは、お客さまに提供する価値を創る仕事です。ヤマハ発動機グループでは常に「外向きに」の姿勢を忘れず、モビリティ製品の企画から開発、製造、販売、サービスに至るまで常に「お客さま基点」に立ってものを考え、製品の品質、安全性、創造性の向上に取り組むことにより、お客さまの期待を超える価値を提供し続けます。

品質向上への取り組み

品質はお客さまとの関係をより密に続けていくことによって高められるものであり、常に全社員が品質の向上・充実の努力を続けなければならないと考えています。ヤマハ発動機グループでは「お客さま基点」の強化とお客さまの声をさらに活かしたモノ創りのために、品質向上に向けた取り組みを継続し、より満足度の高い製品をお客さまにお届けできるように努めています。

新たな感動の提供

ヤマハ発動機は2012年4月から「豊田市低炭素社会システム実証推進協議会」のメンバーとして「豊田市低炭素社会システム構築実証プロジェクト」に参画し、実証実験の準備を進めてまいりました。2012年10月に運用を開始した都市交通システム「Ha:mo(ハーモ)」に11月から参画し、人、街、社会に優しい交通の実現を目指します。

<http://www.yamaha-motor.co.jp/news/2012/1113/toyota-city.html>



お客さま対応／サービス

ヤマハ発動機グループでは、世界中のお客さまに均質かつ高品質な「ヤマハのサービス」をお届けするための世界共通の教育プログラムとして、ヤマハ・テクニカル・アカデミー（YTA）を推進しており、これまで約3万人の整備士がYTA認定整備士として各国地域で活躍しています。

2012年にはそのYTA認定整備士の世界大会ヤマハワールドテクニシャングランプリが開催され、各国の予選大会を勝ち抜いた20カ国・28人の精鋭が集い、「世界一のヤマハ二輪車整備士」の称号をかけてその知識や技術、接客の質を競い合いました。



ヤマハモーターパワープロダクツ(株) (YMPC)は、全世界のゴルフカーサービススタッフのさらなる技術レベル・CSの向上を目指した教育制度「ヤマハゴルフカーアカデミー (YGA)」を開始しました。



安全運転普及活動

ヤマハ発動機グループでは安全運転普及活動をより積極的に推進していくために、「ヤマハライディングアカデミー (YRA)」をグローバルに展開しています。YRAのプログラムは、安全普及、モータースポーツ普及、製品普及の3つの要素を統合・体系化したもので、安全普及に関しては、各国の社会環境や交通環境、ユーザー事情に適合したカリキュラムのもとで活動を実施しています。二輪車を中心にATV(四輪バギー車)やウォータービークル(水上オートバイ)、スノーモビルなどの製品領域で取り組んでおり、アセアン、中南米、中東、ロシア、アフリカなどの近年市場が急成長し、安全運転についての指導や啓発教育が社会的な課題となっている地域を中心に活動を推進しています。

トピックス

ヤマハ発動機株式会社の2012年欧州モデル、530ccCVTエンジン搭載のスポーティコミューター「TMAX」が、世界的に権威あるデザイン賞、「レッドドット・デザインアワード」で「プロダクトデザイン2012」を受賞しました。「TMAX」は2000年の導入以来、スポーティコミューターとして欧州を中心に高い評価を得ています。欧州仕様2012年モデルではフルモデルチェンジを行い、エンジンと駆動系をさらに高次元に進化させて走行性を向上、またデザインは、前後ホイールを視覚的に繋ぐ特徴的なボディデザインを継承しながら、よりアグレッシブな造形としました。



スナップショット

トップインタビュー

特集

事業の概況

CSR情報

企業情報

財務セクション